

科目名	原価計算	単位数	3	必修選択	必修
教科書	原価計算 (実教出版)				
副教材	最新段階式 簿記検定試験問題集全商 1 級原価計算改訂版 (実教出版) 全商簿記実務検定 模擬試験問題集 1 級原価計算 (実教出版) パーフェクトナビ全商簿記 1 級原価計算模擬問題集 (TAC 出版)				

教科・科目の内容

製造業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術の取得を習得する。

原価計算の基本的考え方や計算方法及び工業簿記の記帳方法に関する知識と技術を習得する。

原価計算の役割や資料の有効な活用について理解を深めまる。

原価を中心とする会計情報を活用する能力を身につける。株式会社における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術の習得を身につける。

原価計算の知識をベースに管理会計の基礎を学習する。

日常生活や将来とのつながり

1 年次の簿記の内容から発展し、主に製造業の諸活動を計数的に把握できるようになり、経営活動の状況を見る視野や考え方が広がっている。今日の経済社会にあつて、製造業に関わる職業は決して少なくない。原価計算は、製造業において、計算を正確に行い、標準原価計算によって原価管理（むだや能率の悪さなどを改めること）を行う。さらに原価計算は、直接原価計算によって利益計画を算出し、計画の継続が可能か否かあるいは目標とする利益を獲得するためにはどのような意思決定が必要かなどを判断するためなど、必要不可欠な知識・技能といえる。また、系統立てた計算過程を把握することも極めて重要な能力である。会計の学習と合わせて上級の検定資格を取得し、資格取得を活かした大学入試にも対応することができる科目である。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

教科書・問題集・プリントによる講義形式の授業形態および演習を行う。

記帳に慣れるように各種検定試験の検定演習問題を多く解いていく。

原価計算も、会計と同じく技術の取得だと考えているので、繰り返し問題を解くことにより着実に理解できるように指導している。そして、復習をしっかりと行うことが大切である。

授業でやりきれなかった問題等は、放課後の自学自習時や家庭学習等でこなす努力が必要である。

到達目標

製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価の概念について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・ノート・問題集・課題提出)

商品や製品などに対し、ビジネスの視点に立って、関心を持ち、原価、利益などの思考を身につけることができる。

② 思考・判断・表現(行動観察・帳簿やノートの点検・定期試験)

原価計算から得られる情報を活用し、諸帳簿や財務諸表の作成ができる。

③ 技能(諸帳簿・問題集)

原価計算の目的、製造業における簿記の特色と仕組みを取り扱い、原価計算の概要について理解するとともに、簿記のルールに従って、記帳、計算を行うことができる。

④ 知識・理解(定期試験・検定試験)

製造業における経営活動と原価計算との関係を理解し、原価の計算の方法を身につけることができる。

指導学年	科目名	単位数	教科書名（出版社）	副教材名
2年	原価計算	3	原価計算（実教出版）	最新段階式 簿記検定試験問題集 全商1級原価計算改訂版（実教出版） 全商簿記実務検定 模擬試験問題集 1級原価計算（実教出版） パーフェクトナビ全商簿記1級原価計算 模擬問題集（TAC出版）

学期	学習内容	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	原価と原価計算 原価計算のあらまし	工業簿記は製造業に適用されることを学ぶ。 原価の意味、要素と分類、目的を理解させる。 原価計算の手続き、種類を理解させる。 工業簿記の一連の記帳手続を理解させる。				
	工業簿記－製造業における簿記 材料費の計算と記帳	材料費の分類と内容を理解させる。 材料の払い出しと記帳方法を理解させる。 予定価格による消費高の計算を理解させる。	○	○		
	※ 中間試験				○	○
	労務費の計算と記帳 経費の計算と記帳	労務費の分類と内容を理解させる。 賃金の支払いと計算方法、記帳法を理解させる。 予定賃率による消費高の計算を理解させる。 経費の意味と分類、内容を理解させる。 経費の支払いと計算方法、記帳法を理解させる	○	○		
	※ 期末試験				○	○
二学期	個別原価計算 部門別個別原価計算 総合原価計算	個別原価計算の仕組みと原価計算表の記帳方法を理解させる。 部門別原価計算の全体の流れを理解させる。 個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 単純総合原価計算・等級別原価計算・組別原価計算の手続きの流れを理解させる。	○	○		
	※ 中間試験				○	○
	工程別総合原価計算 製品の完成・販売と決算 製品の完成と販売 決算と本社・工場間の取引	工程別原価計算の意味と目的を理解させる。 工程別原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成を習熟させる。	○	○		
	※ 期末試験				○	○
三学期	検定試験出題形式別演習 原価情報の活用 標準原価計算 直接原価計算	検定試験模擬演習を行い理解する。 標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知る。標準原価計算の記帳方法を理解する。 直接原価計算の意義と特色を理解する。	○	○		
	※ 学年末試験				○	○

備考	○全商簿記実務検定1級原価計算受験 ○検定直前補講（1月）
----	----------------------------------